



特集 フォトレポート

# 愛顔つなぐえひめ国体

愛媛県では初の単独開催となる第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」が9月30日(土)、松山市の県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム)で開幕しました。競技は10月10日(火)までの11日間に渡って行われ、県内は国内最大のスポーツの祭典に沸きました。

サッカー女子競技の会場となっている愛南町では、10月2・3・5日の3日間で7試合が行われ、都道府県を代表する選手たちが勝利を目指して熾烈な戦いを繰り広げました。のべ2,500人の町民が競技役員やボランティアスタッフとなつて支えた大会を写真で振り返ります。



## 気持ちよく試合に

えひめ国体開幕直前、町内では、大会関係者やボランティアの皆さんが、選手たちに気持ちよく試合に臨んでもらおうと、あけぼのグラウンド周辺の清掃や飾り付けを行いました。

建設業協会南宇和支部女性部では、15人が集まってあけぼのグラウンド周辺や国道沿いのゴミ拾いを行いました。女性部会長の羽田いくよさんは「大会期間中、少しでも気持ちよく愛南で過ごして試合に備えてほしいと思います」と笑顔で話しました。





9月30日(土)の総合開会式の様子



高校生や一般のボランティアの皆さんが  
プランターで会場周辺を華やかに彩りました



約 500 本ののほり旗が  
選手や関係者を歓迎しました



会場周辺のごみ拾いや草刈りを行う建設業協会南宇和支部の皆さん



「地域の盛り上がり感謝！  
 温かく迎えてくれて楽しかった。」

神奈川県 田中 萌選手



# 10.3 準々決勝

千葉県 0 - 0 (PK 8 - 7) 岡山県  
 静岡県 1 - 0 神奈川県





# 10.5 3位決定戦

静岡県 3 - 0 鹿児島県



ここがホーム

3位決定戦を制した静岡県。あけほのグラウンドで行われた、1回戦と準々決勝を勝ち抜き、宇和島市で行われた準決勝に進みましたが優勝した千葉県に敗れて、3位決定戦に臨むべく、あけほのグラウンドに戻ってきました。

静岡県のメンバーは全員が高校生。豊富なスタミナでピッチを駆け巡って試合の主導権をにぎり鹿児島県に快勝しました。

キャプテンの千葉玲海菜選手は「あけほのグラウンドでは2回勝っていたので、ここが自分たちのホームだと思って帰ってきた。応援に励むためにも絶対にいい試合をしようと思っていた。自分たちの試合ができた」と振り返りました。

大会結果はHPでご覧いただけます



We are KAGOSHIMA!!



「雰囲気は最高！子どもたちの声ずっと届いていました。」

鹿児島県 武田 菜津美選手

